Pentecost —単立ペンテコステ教会フェローシップ機関誌—

ペンテコステ

No.115
（季　刊）

講師：マルコ・セルコマー師

「臨在に満ちた、祝福された時間」

私の頭の上に、手が置かれ、声が聞こえました。「あなたに神様からの油が注がれています。」このように小さな者をも神様は、気にかけてくださり、支えてくださっている…。神様の大きな愛を感じ、涙が止まりませんでした。

第51回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会は、滋賀県希望ヶ丘青年の城にて、8月19日（火）から21日（木）まで行われました。地元の関西はもとより、関東や北陸からもたくさんの方々が来られ、参加者の人数は祈祷課題となっていた300名をはるかに超えました。兄弟姉妹の熱い信仰と期待に、神様は、講師マルコ・セルコマー師のすばらしいメッセージとミニストリーを通して、豊かに答えてくださいました。

私は大会の1週間前に試練を体験しました。準備を担当していたキリスト福音教会の他の先生方から大きな助けと支えをいただき、なんとか大会当日を迎えることができました。

2日目の夜の聖会の中で、セルコマー師が会場の中を自由にめぐり、神様の導きのままに祈られる時間がありました。その時、私にも手を置いて祈ってくださったのです。他にもたくさんの参加者がおられる中で、特別に祈っていただき、驚くとともにとても励まされました。

「神様は私を大切にしてくださっている。」参加された方全員が、そのような体験をされたのではないでしょうか。すばらしい大会を与えてくださった神様に感謝いたします。

第51回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会
実行委員長　置田信也

ＴＰＫＦ大会 キッズプログラムの恵み

「イロイロ、色？なプログラム」。今年の単ペンキッズは、フィンランド発の子どもゴスペル“イッピー”の楽曲「いろのうた」をベースに、盛りだくさんなプログラムの中、たくさんの祝福で溢れた時となりました。

「赤はイエスの愛、黒は心の罪♬ 白は十字架できよめた心、金は天国示す～♬」イッピーの働きを続けてこられている町田純福音教会の廣瀬姉妹によるイッピー Time では、賛美の中に子ども達がぐっと引き込まれて、本当に楽しそうに歌ったりジャンプしたり、その姿が可愛らしくて…スタッフ一同、顔もほころぶ癒しの時でした。クラフト Time やゲーム、外での水鉄砲戦争＆段ボール芝滑りは天候にも恵まれ、どれも楽しい時となりました。また、シニヴィルタ・タネリ宣教師によるメッセージ Time では、歌詞の中にある四色の意味を一色ずつ教わりました。

スタッフ＆子ども、総勢 40 人が入れ替わり立ち代わる中で感じたことは、四色のメッセージが示す福音によってもたらされている一体感です。色々な教会から合わされた者が福音にあって、共に働き、遊び、賛美し、時間を共有する。言葉では説明のできない素敵な感覚がそこにあった様に思います。また、物語を歌によって覚えることは昔から行われてきたことですが、このキャンプを通して、子ども達が歌いながら福音を覚え、賛美している姿がとても印象的でもありました。

そして、最後のステージでの特別賛美！　１日半という短い期間で曲や振りを覚え、大勢の前で発表することに心配もありましたが、「いらない心配」！　どの練習にも勝る、最高の賛美でした。子ども達の賛美は、純粋ですね。イエス様を喜び、賛美を喜び、友達を喜ぶ。その様な賛美を聖霊様が喜んでおられるのを強く感じました。

イエス様：「子ども達を私のところに来させなさい。天の御国はこのような者たちの国なのです。」（マタイ 19：14）

私：「はい！」　そう思えた祝福の時を本当に感謝します。

（シニヴィルタ梨絵）

ＴＰＫＦ大会 ユース聖会の恵み

「超自然へのユースの道」

昨年、50 周年記念大会の中でされたユースプログラムがとても印象深く、「51 回目もぜひやりたい！」という声が若者たちの中から上がったのが、１年前の大会後。「今年はどうすべきか」祈る中で、とにかく主の臨在を慕い求めるユース聖会を中心にしたいという思いが与えられました。そして、ユース聖会は教職者が企画し、ユース間の交わりやお楽しみ関係は若枝ユースリーダーたちが知恵を出し合って企画しました。

ユースはまず Welcome タイムを設定し、京都の“おたべ”やお菓子を用意して各地から集まるユースを歓迎し、食事時もユース間の交わりを深めました。２日目午後は、屋外に出てバレーボールや広大な敷地を走り回るゲームを楽しんだ後に TPKF の今とこれからを考える時間を持つと、どちらも充実した時間になり、互いの交わりが充実してくると主への飢え乾きはさらに増していくようでした。

オープニング（上田師リード）では、まだ緊張感と堅さがあるものの、力いっぱい主をたたえ、祈り、「私たちはいろいろな人と出会い、再会を楽しみ、話をし、祈り合う。フィンランドから講師も来られた。でも、いちばん出会ってほしいのは、イエス様の臨在です」との勧めを受け取りました。２日目祈祷会（川内師リード）は朝一番から、力いっぱい主を礼拝し、ユース聖会（西川師リード）では、ご自身の体験から「自分は弱くてできないことでも、神さまにはできる！」と力強く語られました。３日目ユースとして最後の集まりは 45 分間の祈祷会（北村師リード）で、主イエス様にとどまり続けることが主からのメッセージでした。３日間を通じて、ユースは基本的な信仰についてチャレンジされたように思います。また、セルコマー師を通して与えられた癒しの信仰を、最終日の祈りで実践し、皆で腰の痛み、病気の後遺症をもつユースのために癒しの宣言の祈りをしました。単ペンユースの信仰が増し加えられるように、続けて主に期待していきたいと思います。

（若枝顧問：上田勇矢）

ＴＰＫＦ大会 全体集会報告

大会２日目の午後に持たれた全体集会では、TPKF が所属する日本ペンテコステ協議会、日本ペンテコステネットワーク、日本リバイバル同盟について説明がありました。この発表を通して日本全体のキリスト教会における TPKF の位置付け、貢献度が良く理解できました。その後複数のグループに分かれて TPKF についての話し合いがなされました。この時に配布したアンケート用紙では、TPKF 発行のちから誌を伝道に用いている、ペンテコステ誌を通して他教会の働きを知ることができる、自分の奉仕がわかれば喜んで仕えたい、リバイバルのために自分を整え身近な人に福音を伝えたい、TPKF の集会は安心できる、教会間の交流をもっとしたい、等が記入されていました。参加者の TPKF に対する期待感は高く、各グループ内で熱く意見を交換していました。（第 51 回 TPKF 大会事務局　中坊久行）

日本ペンテコステ協議会と日本ペンテコステネットワークについて

TPKF 議長　中見　透

■日本ペンテコステ協議会（JPC）は 1998 年５月に設立。日本のペンテコステ信仰の健全な成長と発展を促進するために、ペンテコステの教団及び教団に準ずるグループの指導者・教職者間における交流を深め、情報交換及び相互理解を図り、教職研修を行うことを目的として、毎年１回、教職者や教会リーダーを対象とした研修会があります。12 教団が加盟し、TPKF 大会の講師として各教団のリーダーをお招きし交わりを深めています。

■日本ペンテコステネットワーク（JPN）は JPC 主導のもと、2012 年 11 月に発足、現在 26 教団が加入しています。JPN は諸団体の働きを尊重し、中継基地のようにお互いの情報を共有し、世界のペンテコステ団体、大会への窓口的役割、日本の聖霊派の窓口的役割、ペンテコステ信仰の神学・教理的面の次世代への継承を目的としています。TPKF は JPN のグループに所属することにより、グローバルな視点を持ち、独善性から守られています。

ＴＰＫＦと関わりのある日本リバイバル同盟について

TPKF 副議長、NRA 委員長　小山大三

日本リバイバル同盟（NRA）は、1996 年５月にペンテコステ派、カリスマ派、聖霊の第三の波などに立つ聖霊派諸教会が日本のリバイバルを目指して結成されました。2003 年に緩やかな教会連合組織として事務局を大阪に移し、組織が再編成され、現在６00 近くの教会・団体が所属しており（牧師個人を含めて）、共に祈り合う関係にあります。イスラエルに本拠地を持つトム・ヘス牧師の Jerusalem House of Prayer for All Nations の働きに呼応して 2006 年より日本各地で祈りの祭典を行なってきました。また、祈りのムーブメントを推進するために、祈りの家や祈りの塔を始めることを励まし、さらには救国断食祈祷を呼びかけてきました。東日本大震災を契機に、被災者支援の働きをも今日まで継続してきました。発足当初から TPKF 議長の中見透師が委員として NRA に関わられ、現在も副委員長として働いておられます。私は 2008 年から評議委員として加わり、今年の２月に委員長に就任しました。

ＴＰＫＦ大会を終えて いやしのあかし

いろいろな恵みのみわざを体験した兄姉がありますので、短かくご紹介します。

・一人の兄弟は、歯茎がはれていて入れ歯を入れることができませんでしたが、２日目の聖会の後、すっかり癒されて、入れ歯が入るようになりました。

・ある姉妹の弟さんは、お母さんとお姉さんと共に大会に参加されましたが、糖尿病と肝臓が癒されていることが最近分かりました。

・私自身のことですが、大会の２日目の夜、知識の言葉の賜物を用いるようセルコマ―先生に励まされて、勇気を奮い、4 種類の病いについて主が癒そうとしておられることを語りました。首から左腕にかけて痛みがある人、腰から左足にかけて痛みがある人、背中に痛みがある人、右足ふくらはぎに痛みがある人、でした。その聖会の後で、２名の方（ふくらはぎと腰痛の問題のあった方）が、私が言葉を語り短く祈った後で癒されたことを伝えに来てくださいました。その他の２人についても、後日癒しが起こっていたことを知らされて、とても励まされました。

聖会の祝福は、今も続いています。９月７日の礼拝の中で、胃に問題のある方と肝臓に問題のある方のことを示されて聖餐式の前にそのことを語り、聖餐式の中で癒しが起こることを期待するよう伝えました。その夜に、胃に問題のあった一人の姉妹から、以下のようなメールを受け取りました。ここに感謝を持ってお知らせいたします。

> 主の御名を讃美します。ここ一週間ほど胃がもたれて薬ばかり飲み、口の横に大きな吹き出物ができていました。なにを食べても美味しくないので、気持ちも落ち込むし熟睡も出来ず困っていました。聖餐で祈っていただいたあと、昼食を友人と食べたのですが（モスバーガーのタコスです）おいしくてぺろっと食べてしまいました。今、お菓子も食べられたし、本当に不思議です。主に感謝です。ありがとうございました。

14 日の礼拝の中で、その癒しが確かであったことを証ししてもらいました。

（小山大三）

ＴＰＫＦ 全国各地の情報・報告

〈イースト〉夏期子どもキャンプ「ジョイフルキャンプ」

「ねえねえイエス様って知ってる？」をテーマに２泊３日、

秦野市表丹沢野外活動センターにてジョイフルキャンプが持たれ、子ども 27 名、大人と合わせて 42 名（７教会)、思いっきり主を賛美し、遊び、イエス様のお話しを聞き、熱心にみ言葉を覚えた３日間でした。最後の夜は､『教会には来たことあるけど､まだよくわからない』『信仰を持っている低学年・高学年』『聖霊のバプテスマ』と４つの分級でイエス様の事をもっともっと知る時間を持ちました。聖霊のバプテスマを求めるクラスでは、望んでいたお友達みんなが与えられ、異言で祈りながら自然と流れ出てくる涙に驚きながらも、主を慕い求め続ける姿は主の栄光に満ち溢れていました。部屋に戻ってから、分級前は居眠りしそうだったお友達が、聖霊に満たされて「私の誕生日は○月○日だから、創世記の○章○節は…出エジプトは…」と次々と聖書を開いている姿に また感動！素晴らしい主にハレルヤ！　（横須賀クリスチャンセンター 久保木 秀美）

〈ＦＣＭＦ〉岐阜純福音教会ユース夏キャンプ

７月２１日に岐阜純福音教会を主催・会場に、ユース夏キャンプを開催しました。テーマは「Growing ー成長」。ゲストに、大嶋重徳先生、裕香先生ご夫婦をお招きし、クリスチャンの霊的成長のほか、特に若者に必要な、クリスチャンの恋愛・性・結婚についても深く学ぶ機会が与えられました。

キャンプには、４７名の参加者が与えられ、２回のメイン集会を通し、多くを教えられ、共に熱く祈り、賛美する機会が与えられました。また、「折り紙教室」「アロマテラピー教室」などのレクリエーションを通し、楽しい交わりの時も持ちました。

キャンプを通じ、救われる魂、洗礼を決断する魂も数多く起こされ、多くのユースが「主が呼ばれるならば献身をしたい」との決断をしました。感謝！　（小山健）

〈キリスト福音〉

７月：**「長老・執事訓練コース」**を開催。各教会長老・執事をはじめ、教会成長を願っている若い兄弟姉妹たち 60 余名が熱心に学ばれました。講師（KBI 学院長大田裕作師）は、今日の日本の教会の状況を冷静に見つめ、将来のビジョンを語ってくださり、参加者一同は、主からのチャレンジを受け、信仰を新しくされました。講義 CD 希望者は 1,000 円の献金で送付可（0773-42-5359 まで)。11 月土曜の「教会リーダー訓練セミナー」の申し込みも受け付け中です。（朝子孝一）

８月：春に続きフィンランド学校にて**「びわこ１２３キャンプ」**開催。放射能から逃れての保養を目的とした 20 日間のキャンプの間、多くの子ども達や親子が被災地から訪れました。

キャンプではたくさんの野外活動、子ども達が企画した夏祭りなど様々なイベントがあり、今回もゴスペルライブができたことは特別な恵みでした。特にキャンプに参加されていたお母さん達から、涙が出た、心に響いたなど多くの反響があったことは大きな感謝でした。　（レフトサーリ麻衣）

ペンテコステ誌読者だけにとっておきのオ・マ・ケ

忙しい大会の合間にセルコマー師に直撃インタビューしました！

☆ペンテコステ誌読者へのメッセージ

第一に、神様は一人ひとりに特別なご計画を持っておられます。主に従ってください。

二番目に、主との個人的な深い交わりを持ち、そこで語られる御声に従い、証人としても語りかけに従ってみことばを隣人に語ってください。

三番目に、聖霊のバプテスマを求めてください。聖霊の働きが教会の中で豊かに現され、聖霊の賜物が豊かに用いられますように。

最後に、祈り続けましょう。日本のリバイバルのためにとりなし続けましょう。

☆３人のティーンエイジャーの父でもあるセルコマー師からユースたちへのお勧め

①スマホでどこにいても聖書を読むように勧めます。神のことばが人を導き、養い、心を整えるから。②地域教会につながってください。根を張ることはとても大切。③自分にできること、与えられているもので主に仕えてください。主に仕えることで成長します。

ＴＰＫＦ大会メッセージ（要約）—マルコ・セルコマー師—

聖会Ⅰ：「神様の臨在のもとにどのように歩むことができるのか。」

私はフィンランドの人口２万３千人のバルカウスという小さな町で育ちました。１３歳でイエス様を信じて６カ月後に聖霊のバプテスマを受けました。神様は私が若い時に、神様の現された臨在に対する情熱を与えてくださいました。「使徒の働き」を読む中で「イエス様が２千年前に、使徒たちを用いることができたのならば聖霊の御力によって私も用いられることができるのではないでしょうか。」と思いました。新約聖書の中で用いられた人は普通の人でした。ですから私のような普通の人も神様に用いられることができると信じました。また神様は「マルコよ、毎日、わたしの臨在のもとにあなたの２時間をわたしのためにくれないか。」と語りかけてくださいました。神様は私と個人的に交わりたかったことが分かりました。今までは礼拝も祈りも働きの一部分でしたが、私たちから神様とのフェローシップを持とうとすることは神様にとって大きな意味があります。それを通して実が結ばれます。イエス様の血潮によって天は開かれているので、私たちは神様とフェローシップを持つことができます。これは信者の特権です。私たちの感情や環境によってではなく、神様のみことばによって神様に近づきましょう。そうすると神様が私たちに近づいてくださいます。

聖会Ⅱ：「神様の臨在にどのように私は入ることができるのか。」

1. 神様のみことばを通してです。
2. 私たち自身を神様の御前に差し出すことによります。
3. 感謝の心を持った賛美と礼拝によります。
4. 生活の中で神様のことを覚えなさい。
5. 異言を持って祈り、賛美しなさい。

聖会Ⅲ：「私たちが集まる時に神様の臨在をどのようにして強め、深めることができるでしょうか。」

信仰の雰囲気を開墾することです。イエス様でさえ自分の郷里においては決して多くの奇跡を起こすことができませんでした。なぜならイエス様に対する人々の期待がなかったからです。神様に期待を持つ信仰が大切です。その時に神様が働かれます。またイエス様が今ここに共におられるという聖書的な信仰が必要です。

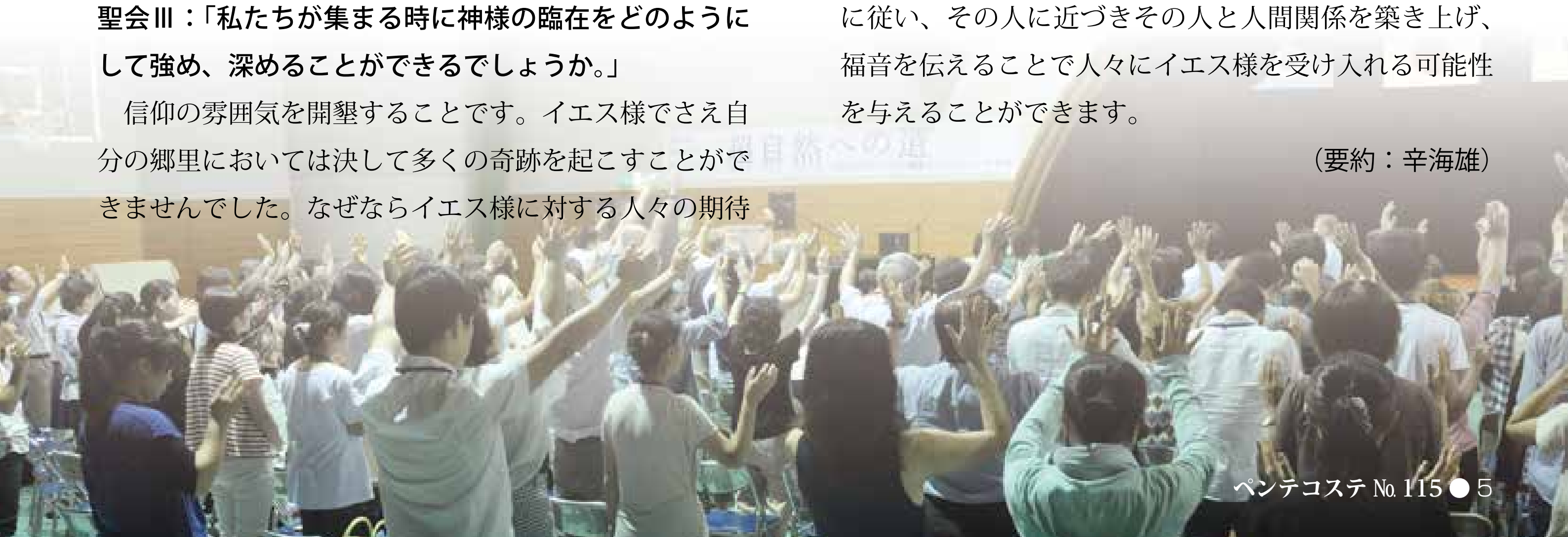
聖会Ⅳ：私たちは聖書に書かれているそのままの神様を信じなければなりません。信仰は私の心を見ることではありません。信仰は目をあげてイエス様を見ることです。神様に対する飢え渇きがあると神様の臨在を引き寄せることができます。神様はその人にご自身の霊を注いでくださいます。神様のご臨在を経験して御力が増し加わるために最も大切なことは次の通りです。

1. 一致することです。私たちは神様の能力を経験するために一致するべきです。
2. 赦すことです。イエス・キリストは十字架で死んでくださいました。殺された小羊のように自分を訴えた人を訴えるのをやめて主の道を選択しましょう。自分を防御するより人を赦しましょう。
3. 求めて受けることです。情熱を持って求める必要があります。
4. すでに与えられているものを使うことです。自分に与えられているものを他人と比べることなく使うべきです。与えられているものをよく使うならもっと与えられます。
5. すべてのことについてイエス様に焦点を合わせることです。私たちが十字架で死んでくださったイエス・キリストを伝える時に聖霊様がご自身の御力を注いでくださいます。

聖会Ⅴ：「聖霊の御力による個人的な魂の救い」

私たちはイエス・キリストの血潮によって選ばれた神の民です。失われた人の救いのために働き人だけが用いられるのではありません。私たちは皆、使徒の働きのピリポのように用いられることができます。神様はあなたを特定の人に導くことができます。神様の御声を聞いた時に従い、その人に近づきその人と人間関係を築き上げ、福音を伝えることで人々にイエス様を受け入れる可能性を与えることができます。

（要約：辛海雄）



ＴＰＫＦ大会あかし

あかし

栄シャローム福音教会　新実千枝

滋賀県での単ペン大会は、参加した全ての者の上に圧倒的な聖霊様のご臨在と満たし、開放をもたらしました。私自身もその恵みに与れたことは本当に感謝でした。

主の働きに携わっていきたい、自由に聖霊様の働かれる管となりたい、そう願い歩む一方で私の中には母に対する憎しみを抱え続けていました。献身してから働き人として遣わされる今に至るまで、自分自身の内にある何かが聖霊様の働きを妨げているのでは…薄々気付きながらも向き合う事ができずにいました。

しかし、この大会中になされたミニストリーの中で、はっきりと母親を赦すようにと主が語られ、悔い改めへと導いてくださり主の前に母を赦す告白の祈りを捧げる事ができました。私がこの大会に参加したのは偶然ではなく主が備えられた必然であり、主の通り良き管となる為に一歩を踏み出すチャンスが与えられたのだと確信しています。

主は本当に生きていて私達を導いてくださいます。主に栄光、ハレルヤ！

ユース集会全体での恵み

亀岡ベタニヤ教会　田中あかり

主の御名を賛美します。今回のユースの集会に参加して感じた、聖霊様の働きを証しさせて頂きます。一つ目は主講師をたてなかったこと。普段は聴くことのできない若いメッセンジャーから、それぞれ受け取った主からの熱い思いをユースが聴くことができたのは、大きな恵みと、励ましの時となりました。二つ目はユースのみんなの、主への姿勢です。メッセージを真剣に聴く姿や、聖霊様の満たしを求めて祈る姿を見て、主がこの単ペンのユースを用いようとされていることを実感しました。また、心を合わせて癒しのために信仰をもって祈り、互いのために祈る姿に、私自身の内側が熱くなるのを感じました。普段会うことができない、同世代がこうして集まり、互いに励まし合い、祈り合えるのはクリスチャンの特権で、とても素晴らしいことで、誰よりも主ご自身が喜んでおられることを実感した三日間でした。来年はもっと多くの若い世代が集まることを期待したいと思います！

あかし

岐阜純福音教会　山本秋子

第 51 回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会では、主が私たちを「主と関係をもつように造られた」、「主はふつうの人を聖霊で満たし様々な働きをなさる」ということが心に残った。主との関係に入っていけるのは、イエスさまの血潮できよめられたから。自分ばかりに目を向けていたことに気づかされ、変わらない恵みが感謝だった。主が動きやすい状況というものがあるというのも印象的だった。イエスの郷里の人達が取った態度ではなく、自ら主を求め主御自身にチューニングを合わせていく姿勢……みことばをそのまま信じ、自分を主に捧げ、賛美や礼拝を通して主にだけ焦点を当て、主がしてくださったことを思い起こして証し（または聞き）、主に期待して歩む信仰が重要と知った。主は大会中に癒しを行っておられた。主が "欠けのある器" に期待をしてくださっていることが嬉しい。欠けがあるからこそ、主に満たされなくてはやっていけないのだと思う。主と一緒に生活していたいと思った。

単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会 ／ 房総中央キリスト教会 ／ 大佐和キリスト教会 ／ 町田純福音教会 ／ 鶴見純福音教会 ／ 横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会 ／ 金沢フィラデルフィヤ教会 ／ 横須賀クリスチャンセンター ／ 保土ケ谷純福音教会神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会 ／ 戸塚カルバリ純福音教会 ／ 栄シャローム福音教会 ／ 伊勢原聖書キリスト教会 ／ 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター ／ 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 ／ 甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会 ／ ハーベスト・チャーチ山梨 ／ 裾野純福音キリスト教会 ／ 御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ ／ 小松ベタニヤ福音教会 ／ 小松南部キリスト教会 ／ ホープハウス ／ 福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター ／ 松岡福音教会 ／ 丸岡福音キリスト教会 ／ 勝山自由キリスト教会 ／ 三国自由キリスト教会 ／ 敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会 ／ 金津福音キリスト教会 ／小浜キリスト福音教会 ／ 小浜キリスト福音教会三方伝道所 ／ 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 ／ 岐阜純福音白鳥教会 ／ 岐阜純福音大森チャーチ ／ 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ ／ 岐阜ライフチャーチ
美濃グレースチャーチ ／ 岐阜中央チャペル ／ 本地ガ原自由キリスト教会 ／ 瀬戸サレム教会 ／ 滋賀キリスト福音教会 ／ 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 ／ 大津キリスト福音教会 ／ 田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所） ／ 甲賀キリスト福音教会 ／ 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 ／ 雲井キリスト福音教会 ／ 米原キリスト福音教会 ／ 綾部キリスト福音教会 ／ 亀岡ベタニヤ教会
京都キリスト福音教会 ／ 山科キリスト福音教会 ／ 深草キリスト福音教会 ／ 宇治キリストペンテコステ教会 ／ 木幡キリスト福音教会
大阪キリスト福音教会／ 須磨自由キリスト教会 ／ 神戸フィラデルフィヤ教会 ／ 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのＴＰＫＦの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスにお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com　　ＴＰＫＦの公式ホームページ　http://www.tpkf.org/

ペンテコステ　単立ペンテコステ教会フェローシップ機関誌　第 115 号　2014 年 10 月発行　1 部 150 円
発行人；中見 透　編集人：芳三容子　辛海雄　上田勇矢　発行所：御殿場純福音キリスト教会 〒412-0024 御殿場市東山711-24 TEL.0550-82-2872